第 4 回東久留米市下水道使用料等検討委員会　議事要旨

1. 開催概要

- **日時**：令和 8 年 10 月 14 日（水） 13 時 30 分～15 時 10 分
- **場所**：東久留米市役所 7 階　704 会議室
- **出席委員**：森委員、和氣委員、若林委員、高橋委員、矢部委員、長澤委員
- **事務局**：吉川都市建設部長、遠山施設建設課長、大塚主査、佐原主任、石田主任
- **業務受託者**：株式会社ぎょうせい、OAG 税理士法人
- **傍聴者**：3 名

2. 開会および事前説明

都市建設部長の司会のもと開会し、事務局より本日の次第および配布資料（次第、資料 1～5、参考資料）の確認が行われた。

3. 報告事項

【第 3 回議事要旨について】

事務局より資料 1 に基づき、第 3 回下水道使用料等検討委員会における議事要旨として、基本使用料の改定率を高めない方針、基本水量は廃止（0 ㎥）とする方針、従量使用料区分間の負担調整の方向性、および報告書（案）への意見等について報告が行われた。

【基本水量を廃止した自治体の事例について】

事務局より資料 2 に基づき、第 3 回委員会での質疑を踏まえて関東圏において、基本水量を廃止した自治体の事例について調査し、その説明が行われた。調査した自治体の一部において、公開されているホームページでの確認では、、単身世帯の増加や節水機器の普及等による水量の減少、使用者間の負担の公平性確保、財政面での使用料収入確保等の観点から基本水量の廃止が進められたものと考えられるとの説明が行われた。また、それら自治体において、基本使用料の引き上げを行った自治体が多数を占めるものの、据え置きや引き下げを行った事例もある旨も報告された。

4. 議事および意見交換の要旨

【議題 1：使用料体系の検討について】

事務局より資料 3、4 に基づき、基本水量を廃止した使用料体系の追加シミュレーションとして、前回の改定案⑥に加え、⑦（20 ㎥以下調整型）、⑧（10～20 ㎥調整型）、⑨（10～50 ㎥調整型）の計 4 パターンの比較検証について説明が行われた。あわせて、資料 4 に基づき本市の排水量区分別の世帯数や使用者のボリュームゾーンについての分析・考察が説明された。

- **委員**:
  均等に改定されているのは改定案⑥であることがよく分かった。改定案⑧と迷ったが、市民への説明がしやすいのは改定案⑥であるように考える。
- **委員**:
  改定案⑧がなだらかでよいように思うが、ボリュームゾーンである 10 ㎥前後の負担が大きくなることは懸念される。改定案⑥か⑧で悩んでおり、他の委員からも意見を聞きたい。
- **委員**:
  改定案⑥が良いと考える。
- **委員**:
  改定案⑥の方が平均的に引き上げられており、改定案⑦と比較すると大口の負担はわずかに軽くなる。大口利用者が今後とも減少していく傾向にあるならば、改定案⑥が良いと考える。
- **委員**:
  単身世帯には高齢者が多いので改定案⑥がいいと思う一方、ファミリー層に配慮するなら改定案⑧にしたいので迷うところである。ただ、全体として改定案⑥の方がよいのではないかという気持ちが強い。

●審議結果

基本水量を廃止する使用料体系として、改定案⑥を採用することで意見が集約された。

【議題 2:報告書案について】

事務局より資料 5 に基づき、「東久留米市下水道使用料に係る調査・検討結果報告書(案)」について、セクションごとに説明が行われ、意見交換がなされた。

＜「はじめに」について＞

- **委員**:
  第 3 段落において現在の経営状況として人口の減少が挙げられているが、将来は減少が見込まれているものの、現状は人口減少というほどのものではなく、緩やかに減少している状況ではないか。
- **事務局**:
  将来的な人口減少が見込まれるというような表現に修正する。
- **委員**:
  第 2 段落について、老朽化が進む「一方」とするのは前後関係がかみ合わないのではないか。

- **事務局**:

  適切な接続詞となるよう修正する。

＜「1. 下水道事業の現状と下水道使用料改定の理由」について＞

- **委員**:

  近年の減少の部分は将来的に減少が見込まれていることを記述してはどうか。また、令和 6 年度実績とある箇所は、決算が確定した令和 7 年度実績に置き換えてはどうか。最終段落の「改定が不可欠であると判断する。」とする部分は市長からの依頼に対する検討結果であるため、以降の検討内容に繋がるよう整理してはどうか。

- **委員**:

  「(2) 収支構造の厳しさと経営努力」の項目について、経営努力の記述が薄いように思う。

- **委員**:

  (2)と 2 の「持続可能な事業運営に向けたこれまでの取組」を統合して整理してはどうか。また、負担金 1.8 億円という表記について、前後の記載(4 億 5,600 万円など)に合わせて 1 億 8,000 万円と統一してはどうか。

- **委員**:

  有収水量の減少要因として、節水機器の普及等による水量の減少についても記載してはどうか。

- **事務局**:

  ご意見を踏まえ再考する。

＜「2. 目指す経費回収率及び下水道使用料算定の目標年度」について＞

- **委員**:

  「人口減少等に伴う」の部分について、使用料収入の減少に直結するのは有収水量の減少であるため、「有収水量の減少に伴う」としてはどうか。

＜「5. 改定の時期」について＞

- **委員**:

  改定時期を「秋頃」とするのは曖昧であると思う。10 月としてはどうか。また、第 3 段落について「議論が交わされた」と結ぶのはいかがなものか。

- **委員**:

  令和 9 年 10 月からと記載してはどうか。

- **事務局**:

  ご意見を踏まえ再考する。

＜「6. 下水道使用料体系の見直し」について＞

- **委員**:

  2 の第 1 段落にある「現行体系への疑問」という表現は、「現行体系の課題」等に改めてはどうか。

＜「7. 付帯意見」および添付資料について＞

- **委員**:

  市長からの委嘱内容についての資料を追加添付してはどうか。

●審議結果

出された意見を踏まえ、事務局において報告書（案）の字句等の修正を行うこととされた。

5. その他

【最終報告書の取り扱いについて】

事務局より、本日の委員会をもって全 4 回の検討委員会が終了となるため、本日出された意見を反映した最終報告書の確認については、森委員長に一任したい旨の提案があり、異議なく承認された。また、10 月 23 日（金）に市長へ最終報告書を提出・報告する予定である旨が案内された。

6. 閉会

森委員長より、全 4 回にわたる審議に対する各委員の積極的な議論への感謝、および事務局の会議進行における対応への謝辞が述べられ、すべての議事が終了し、閉会した。